

2-2-5)

JAみやぎ登米 南方町水稲部会 活動報告

南方町水稲部会 大久保芳彦

私たち南方町水稲部会は、現在123名の部会員で構成されており、部会員全員が、有機栽培や減農薬といった環境に配慮した栽培をしています。

また、南方町水稲部会では、生物多様性の取組として、①生き物調査の取組、②冬みずたんぼの取組、③水田魚道の設置、④ビオトープの設置、⑤情報の発信、⑥めだかの学校プロジェクトを行なっています。

南方町水稲部会では、上記6つの活動をとおして、絶滅危惧種である「めだか」をシンボルとした多様な生き物との共生を目的とした米づくりを行なっています。

